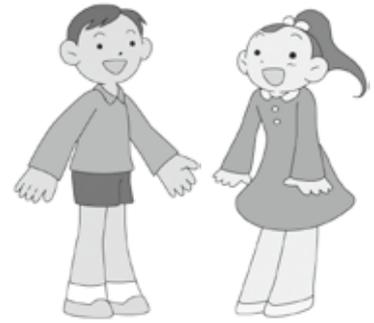


今回は、多様化する「子ども人権フォーラム」の中で、出会う学年の子どもたち全員が参加し、同じ事実や思いを共有しようとしている校区として、久居中学校区・香海中学校区の取り組みを紹介します。

子どもたちが、さまざまな学習や出会いを通して自分の生き方を振り返り、仲間と深い絆を築いていった様子を、保護者や地域の方たちもうなずきながら真剣に聞き入っていました。参加した大人も共に学ぶ機会となりました。



## 久居中学校区

### 子ども人権フォーラム「明日を拓く小中高生の集い」<sup>ひら</sup>

と き 平成23年12月13日

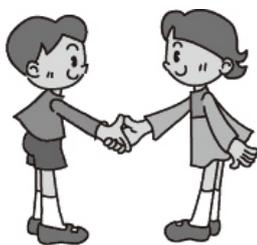
参加者 戸木・成美・誠之小学校の6年生全員、久居中学校の2年生全員、  
校区内の高校の人権サークル、保護者

**オープニング** は、久居高校の人権サークル「ピース久居」と文化部有志が昨年演じた人権劇「Beyond the Border」の一部がDVDで上映されました。この人権劇は、日本に住んでいる外国の人たちが直面しているさまざまな問題を取り上げ、ミュージカル風に仕上げた、中身の濃い劇でした。上映後、劇の主人公を演じた高校生が、高校の人権サークルの紹介をし、高校生になっても一緒に人権について考えていこうと訴えました。

**久居中学校の2年生** は、「わたしの生き方宣言」として「差別は僕の心の中にもある。差別は間違った物差しをあてるところから始まる。そんな物差しを心の中から取り除き、差別を許さない生き方をしたい」などこれまで出会ってきたたくさんの人たちから学んだことをもとに、自分の生き方を見つめ直したことを発表しました。

**戸木小学校の6年生** は、東日本大震災の募金活動をきっかけに、学習を始めました。震災後の救援活動を体験された消防士さんや救急救命士さんから、震災直後の大変な状態や「命を守り」「命をつなぐ」ことの意味などを学んだことを発表しました。

また、部落問題に関しては、「差別は人の命を奪うことがあることを知った。こんな差別はなくしていきたい」と語りました。



**成美小学校の6年生** は、長崎で被爆された人から、原爆の被害の悲惨さについて聞いたことを発表しました。「助けを求める友達を助けることもできず、置き去りにして必死で逃げた」「被爆して辛かったのは、周りの人々の心ない言葉や態度で、差別によって受けた心の傷は消えることはない」という言葉が心に深く残ったことや、人を大事にして生きることが大切であることを訴えました。

**誠之小学校の6年生** は、「自分の思っていることを伝えなければ、相手と分かり合えない」「人は変わる。うまくいったこともいかなかったことも、いろんな経験をしたからこそ、人は強くなれる」「仲間とつながるためには、ありのままの自分の姿を伝えていくことが大切だ」と「よさこい」の指導者との出会いから学んだ大切なことを発表しました。そして最後は、これまで学んできたいろいろな思いを込めて、全員で「よさこい」を力強く踊りました。

